



てっとう 鉄道きょうだい

ネズビット作 なかむらたえ こ きょうぶんかん
中村妙子訳 教文館

ロバータとピーターとフィリスは三人きょうだい。お父さんがある事件に巻き込まれてしまい、お母さんと田舎に移り住むことになります。つましい暮らしの中、三人の楽しみは汽車を見ることでした。汽車は次第に、家族と周囲の人々をつないでいきます。お母さんが病気で寝込んだときは、汽車の乗客が手助けをしてくれました。三人が機転をきかせて脱線事故を未然に防いだときは、駅長さんが表彰してくれました。様々な出会いはやがて、お父さんの再会につながる情報をもたらします。

